Ⅸ　文化財

1　文化財　・・・・・・・・・・・・・・・113
2　生目の杜遊古館　・・・・・・・・・・121
3　佐土原歴史資料館　・・・・・・・・・123
4　天ケ城歴史民俗資料館　・・・・・・・124
5　安井息軒記念館　・・・・・・・・・・125

１　文化財

（１）概要

本市では、昭和45年4月に宮崎市文化財保護条例を制定した。平成22年3月23日の清武町との合併に伴い、国指定史跡「安井息軒旧宅」が加わるなど、令和8年4月1日現在の指定文化財件数は、有形文化財58件、無形文化財2件、有形民俗文化財2件、無形民俗文化財18件、史跡49件、特別天然記念物2件、天然記念物21件、合計152件。同じく登録文化財件数は、有形文化財24件、記念物1件、合計25件となっている。

文化財の保護顕彰については、市内の文化財を紹介する「新宮崎市の文化探訪マップ～文化財ツーリング～」や、遺跡発掘調査に伴う「埋蔵文化財発掘調査報告書」、文化財を紹介する市のホームページなどを、市民及び関係機関の利用に供している。また、学校教育との連携については、しらふじ文化財愛護少年団と船引文化財愛護少年団が、文化財愛護と環境保護意識の啓発活動に努めている。

史跡整備としては、国指定史跡の「生目古墳群」「佐土原城跡」「本野原遺跡」「穆佐城跡」「蓮ヶ池横穴群」について、それぞれの史跡の特徴を生かした保存整備事業を計画的に進めている。平成20年4月には「生目古墳群史跡公園」が開園した。現在も古墳の発掘調査や整備を進め、これまで、発掘調査現地説明会や「生目古墳群ｄｅピクニック」などのイベントを実施しながら史跡公園の活用を図っている。

平成21年4月に開館した「生目の杜遊古館」の埋蔵文化財センターでは、生目古墳群や市内の遺跡から発掘された考古資料の展示・解説や、普及啓発活動を行い、市民の埋蔵文化財に対する理解・関心を深めている。また、体験学習館では、古代文化体験などの活動を通して、健全な青少年育成を図っている。令和2年9月には、新たに歴史資料館としての機能が加わり、宮崎市の歴史や文化財を学べる、通史展示室、テーマ展示室、企画展示室がオープンした。

民俗芸能伝承事業としては、昭和62年度から民俗芸能の登録制度を設け、その掘り起こしと記録保存に努め、各地域に伝承されている民俗芸能に発表の場を提供する「みやざき民俗芸能まつり」を毎年開催し、市民が民俗芸能を鑑賞する機会を提供している（令和2、3年度はコロナウイルス感染拡大防止のため中止、令和4年度より再開）。

令和7年度の文化財に関する主な事業としては、生目古墳群史跡公園内の古墳の保存整備、佐土原城跡の災害復旧、本野原遺跡の史跡公園化に向けた整備、穆佐城跡の排水対策工事、蓮ヶ池横穴群の整備事業報告書の刊行などを実施した。

文化財の保護管理としては、「宮崎神社のオオシラフジ」などの天然記念物の保護治療、「アカウミガメ及びその産卵地」の保護調査を行うほか、公共事業・民間開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査を実施した。

文化財の公開活用としては、市民の文化財への興味・関心を深めるため、文化財施設の公開や企画展示、「蓮ヶ池横穴群のためにわたしたち小学生ができること」、「佐土原城謎解きウォーク2025」、「生目古墳群ｄｅピクニック」などの文化財を活用したイベントを実施するほか、社会科の教科書、副読本に則した内容の出前授業や教職員を対象とした研修や講座などの教育支援を行った。

（２）指定文化財等一覧（宮崎市の文化財：令和8年4月1日現在）

①国指定文化財

番号	種　　別	名　　称	所　在　地	指定年月日
1	重 要 文 化 財	木造薬師如来及び両脇侍像三軀	大字瓜生野1068番地（王楽寺）	昭19. 9. 5
2	〃	旧黒木家住宅	神宮2丁目（県総合博物館屋外）	昭48. 2.23
3	〃	旧藤田家住宅	〃	昭48. 2.23
4	〃	木造騎獅文殊菩薩及脇侍像(五躯）附木造天蓋一面	佐土原町上田島767番地（大光寺）	昭19. 9. 5
5	〃	乾峯士曇墨蹟（六種）	〃	昭40. 5.29
6	〃	巨田神社本殿一棟　附棟札22枚	佐土原町上田島10732番地1（巨田神社）	昭53. 5.31
7	〃	木造神王面（宝治二年銘） 附木造神王面（天文五年銘）	大字生目345番地（生目神社）	平30.10.31
8	〃	木造乾峯士曇坐像（一躯） 木造岳翁長甫坐像（一躯）	佐土原町上田島767番地（大光寺）	平30.10.31
9	〃	宮崎県下北方五号地下式横穴墓出土品	大字跡江4200番地3（生目の杜遊古館）	令 2. 9.30
10	重要有形民俗文化財	日向の山村生産用具	神宮2丁目（県総合博物館）	平 5. 4.15
11	史　　跡	生目古墳群	大字跡江字井尻ほか	昭18. 9. 8 平19. 2. 6
12	〃	蓮ヶ池横穴群	大字芳士字岩永迫	昭46. 7.17
13	〃	佐土原城跡	佐土原町上田島追手ほか	平16. 9.30
14	〃	本野原遺跡	田野町字本野原	平16. 9.30 平18. 1.26
15	〃	穆佐城跡	高岡町小山田918番地ほか	平14. 3.19 平29.10.13
16	〃	安井息軒旧宅	清武町加納（字中ノ尾）甲3368番地1	昭54. 5.22
17	特別天然記念物	青島亜熱帯性植物群落	青島2丁目（青島神社境内）	昭27. 3.29
18	〃	内海のヤッコソウ発生地	大字内海字下大谷	昭27. 3.29
19	天 然 記 念 物	青島の隆起海床と奇形波蝕痕	大字折生迫　青島海岸ほか	昭 9. 5. 1
20	〃	内海のアコウ	大字内海字磯平6227番地（野島神社境内）	昭16.10. 3
21	〃	宮崎神社のオオシラフジ	神宮2丁目（宮﨑神宮境内）	昭26. 6. 9
22	〃	瓜生野八幡のクスノキ群	大字大瀬町5714番地（八幡神社境内）	昭26. 6. 9
23	〃	双石山	大字鏡洲	昭44. 8.22
24	〃	高岡の月知梅	高岡町高浜梅元323番地2	昭10.12.24
25	〃	去川のイチョウ	高岡町内山3704番地1	昭10.12.24
26	〃	清武の大クス	清武町船引6622番地（船引神社境内）	昭26. 6. 9

②県指定文化財

番号	種　　別	名　　称	所　在　地	指定年月日
27	有 形 文 化 財	木造阿弥陀如来坐像一軀	神宮2丁目（県総合博物館）	昭40. 8.17
28	〃	米良の民家旧黒木幸見家住宅	神宮2丁目（県総合博物館屋外）	昭52. 4. 1
29	〃	椎葉の民家旧清田司家住宅	〃	昭52. 4. 1
30	〃	土持文書	神宮2丁目（県総合博物館）	昭58. 1.21
31	〃	妙円寺跡石塔群	大字浮田字中間439番地、440番地	平15.10.16
32	〃	金剛寺文書	大字芳士2258番地3 （旧みやざき歴史文化館寄託）	平18. 3.23
33	〃	銅鰐口	神宮2丁目（県総合博物館）	平30. 9.10
34	〃	木造地蔵菩薩半跏像（一躯）	佐土原町上田島767番地（大光寺）	昭40. 8.17
35	〃	巨田神社摂社若宮社、今宮社	佐土原町上田島10732番地1（巨田神社）	昭58. 1.21
36	〃	五輪塔	清武町木原6329番地1	昭41. 7.17
37	〃	旧二見家住宅	高岡町内山3627番地	平30. 2.26
38	無形民俗文化財	青島臼太鼓踊り	青島地区	平18. 3.23
39	〃	巨田池の鴨網猟	佐土原町上田島巨田地区	平18. 3.23
40	〃	船引神楽	清武町船引地区	平 3. 3.15
41	〃	生目神楽	大字生目345番地（生目神社）	令 4. 9. 8
42	史　　跡	谷村計介旧宅跡	大字糸原下馬場	昭 8.12. 5
43	〃	赤江町古墳	赤江地区一円	昭 8.12. 5
44	〃	倉岡村古墳	倉岡地区一円	昭 8.12. 5
45	〃	青島村古墳	青島地区一円	昭10. 7. 2
46	〃	宮崎市大淀古墳	大塚地区一円	昭12. 7. 2
47	〃	木花村古墳	木花地区一円	昭12. 7. 2
48	〃	住吉村古墳	住吉地区一円	昭14. 1.27 昭19.12.15
49	〃	宮崎市下北方古墳	下北方地区一円	昭14. 4.21
50	〃	生目村古墳	生目地区一円	昭19.12.15
51	〃	瓜生野村古墳	瓜生野地区一円	昭19.12.15
52	〃	池内横穴	平和が丘西町	昭47. 5.26
53	〃	船塚古墳	神宮2丁目（宮﨑神宮境内）	昭52. 4. 1
54	〃	古月禅師分骨塔	佐土原町上田島767番地（大光寺境内）	昭 9. 4.17
55	〃	佐土原町古墳	佐土原町上田島字居穴口ほか	昭10. 7. 2
56	〃	那珂村古墳	佐土原町東上那珂字牛ヶ迫ほか	昭12. 7. 2
57	〃	広瀬村古墳	佐土原町下那珂七ヶ廻ほか	昭14. 1.27
58	〃	僧日講遺跡	佐土原町上田島今坂	昭17. 6.23
59	〃	去川の関跡	高岡町内山（国道10号線敷）	昭 8.12. 5
60	〃	高岡町古墳	高岡町花見	昭17. 6.23
61	〃	清武上猪ノ原遺跡	清武町船引5582番地1	平27. 2.23
62	天 然 記 念 物	アカウミガメ及びその産卵地	こどものくに南端から大炊田海岸	昭55. 6.24
63	〃	天林寺のオハツキイチョウ	新別府町麓418番地（天林寺境内）	昭60.12.17

③市指定文化財

番号	種　　別	名　　称	所　在　地	指定年月日
64	有 形 文 化 財	木造六観音像	大塚町城ノ下2825番地（長久寺）	昭48. 3.12
65	〃	舞楽面陵王	大字新名爪4449番地（新名爪八幡宮）	昭48. 3.12
66	〃	木造阿弥陀如来立像一軀	大字熊野9508番地（木花神社）	昭49. 4.15
67	〃	木造十一面観音立像一軀	大字広原4406番地（畑公民館）	昭49. 4.15
68	〃	木喰行道筆 南無薬師如来書画幅一軸	大字金崎914番地（朝倉寺）	昭58. 3.16
69	〃	木喰行道作 千手千眼十一面観音立像一軀	大字有田（個人）	昭58. 3.16
70	〃	下郷遺跡出土絵画土器	大字跡江4200番地3（生目の杜遊古館）	平14.10.28
71	〃	生目神社木造神面（二面）	大字生目345番地（生目神社）	平16. 3.29
72	〃	商家「旧阪本家」	佐土原町上田島1601番地2	平12. 5.23
73	〃	二ッ建天神社天満縁起絵詞	佐土原町下田島8202番地1 （佐土原歴史資料館寄託）	平17.10.26
74	〃	梅谷橋（石橋）	田野町梅谷	平15. 6.10
75	〃	黒草水路橋	田野町楠原	平15. 6.10
76	〃	河上家武家門	高岡町内山2899番地1	昭54. 1.24
77	〃	高岡名勝志	高岡町内山3003番地56 （天ケ城歴史民俗資料館）	昭54. 1.24
78	〃	練士館の扁額	〃	昭54. 1.24
79	〃	高岡郷士高帳	〃	昭61. 1.20
80	〃	市来家長屋門	高岡町五町354番地	平 9. 6.19
81	〃	安藤家武家門と石垣	高岡町五町266番地	平10. 4.16
82	〃	赤谷橋	高岡町浦之名字赤谷 （県道赤谷橋山線道路敷）	平14. 8.12
83	〃	鵜木橋	〃	平14. 8.12
84	〃	木造弘法大師像	大塚町城ノ下2825番地（長久寺）	平20.12. 1
85	〃	安井文庫29点	清武町加納甲3378番地1 （安井息軒記念館）	昭45. 7.23
86	〃	弥勒寺六地蔵塔	清武町船引字柿ノ木田（赤道）	昭53. 9. 8
87	〃	神宮寺六地蔵塔	清武町船引	昭53. 9. 8
88	〃	内山寺仁王像	清武町船引1592番地	昭53. 9. 8
89	〃	安井息軒衣服18点	清武町加納甲3378番地1 （安井息軒記念館）	昭53. 9. 8
90	〃	安井息軒書簡	〃	昭53. 9. 8
91	〃	炎尾権現御本地文書	〃	昭56. 2. 1
92	〃	船引神社雲竜巻柱	清武町船引6622番地（船引神社）	昭61. 3.31
93	〃	黒坂観音仁王像	清武町木原6329番地1	昭61. 3.31
94	〃	黒坂観音厨子	〃	昭62.12.11
95	〃	千手観音自在菩薩	〃	昭62.12.11
96	〃	秋葉大権現像	清武町加納甲3378番地1 （安井息軒記念館）	平22. 2. 3
97	〃	神﨑家武家門　附石垣3基	高岡町内山字大手迫2818番地	平26. 5.12
98	〃	長野家武家門　附石垣2基	高岡町内山字雁ケ峰2801番地3	平26. 5.12
99	〃	濱田家武家門　附石垣3基	高岡町五町字井ノ上129番地	平26. 5.12

番号	種　　別	名　　称	所　在　地	指定年月日
100	有 形 文 化 財	吉冨家武家門　附石垣2基	高岡町内山字中村2879番地	平26. 5.12
101	〃	大光寺文書	佐土原町上田島767番地（大光寺）	令 2.12.21
102	無 形 文 化 財	高岡の鶴賀新内	伝承者　鳥越フミ子氏 (市指定無形文化財保持者)	平 9. 6.19
103	〃	高岡じょっさい	〃	平10. 4.16
104	有形民俗文化財	花見神楽の面	高岡町内山3003番地56 (天ケ城歴史民俗資料館寄託)	平14.　8.12
105	無形民俗文化財	木花相撲踊り	大字熊野	平 3. 5.21
106	〃	下北方六月踊り	下北方町	平15. 3.28
107	〃	巨田神楽	佐土原町上田島巨田地区	平 5. 3.25
108	〃	曽我兄弟踊り	佐土原町下田島大炊田地区	平 7.11. 8
109	〃	佐賀利いろは口説踊り	佐土原町下田島佐賀利地区	平10. 2.26
110	〃	田野町雨太鼓	田野町一円	昭49. 9.26
111	〃	鷺瀬地区城攻め踊り	田野町上鷺瀬・下鷺瀬地区	平11. 7. 9
112	〃	船引臼太鼓踊り	清武町船引地区	昭45. 7.23
113	〃	船引破魔太鼓	〃	昭61. 3.31
114	〃	中木原破魔太鼓	清武町中木原地区	昭61. 3.31
115	〃	黒坂・永田破魔太鼓	清武町黒坂・永田地区	昭61. 3.31
116	〃	はまくだり歌	清武町木原地区	昭61.　3.31
117	〃	野島神楽	大字内海6227番地（野島神社）	平25.10.31
118	〃	高屋神社神楽	村角町橘尊1975番地（高屋神社）	平28. 3. 3
119	史　　跡	城ヶ崎俳人墓碑並びに板碑群	恒久3丁目20番地13	昭47. 3.10
120	〃	広原横穴第1号（線刻壁画）	大字広原字菅牟田7594番地	昭57. 2.12
121	〃	小村薬師堂石塔群	大字生目字一丁田3100番地 大字生目字一丁田3094番地丙 （小村薬師堂）	昭63. 8.25
122	〃	島津家久・豊久公墓二基	佐土原町上田島西野久尾（天昌寺跡）	昭54. 4. 1
123	〃	佐土原藩島津家御廟所（高月院）	佐土原町上田島8079番地（高月院境内）	平16. 8.20
124	〃	佐土原藩島津家御廟所（大光寺）	佐土原町上田島767番地（大光寺境内）	平16. 8.20
125	〃	野田泉光院の墓	佐土原町上田島757番地3	平17.10.26
126	〃	仏堂園群像仏	田野町甲9730番地	平15. 6.10
127	〃	龍福寺仁王尊	高岡町内山顕本瀬	昭54. 1.24
128	〃	去川関所御定番二見家墓石群	高岡町内山前田	昭54. 1.24
129	〃	八代藩主島津久豊の墓	高岡町小山田山子3574番地2	昭54. 1.24
130	〃	天ヶ城址	高岡町内山2375番地2ほか	昭54. 1.24
131	〃	高木兼寛生誕地	高岡町小山田太良山2465番地1・2465番地2	昭63. 4.18
132	〃	稲津掃部助の墓	清武町加納甲1003番地	昭45. 7.23
133	〃	清武城趾	清武町加納甲776番地2・777番地2	昭45. 7.23
134	〃	伊東家僑墓	清武町加納丙1474番地	昭53. 9. 8
135	〃	伊東祐尭公墓	清武町船引（個人）	昭53. 9. 8
136	〃	歴代安井家墓地	清武町加納丙1474番地	昭53. 9. 8
137	〃	河崎権助の墓	清武町加納甲1941番地47	昭53. 9. 8
138	〃	蓮徳寺墓碑群	清武町加納丙1393番地	昭53. 9. 8
139	〃	玄松院開山の碑	清武町加納甲3377番地2	昭61. 3.31
140	〃	河崎駿河守墓	清武町加納丙1474番地	昭61. 3.31

番号	種　　別	名　　称	所　在　地	指定年月日
141	史　　跡	山内石塔群	清武町木原6327番地1・6325番地1	昭63. 3.31
142	天然記念物	生目神社のオガタマノキ	大字生目345番地（生目神社境内）	昭48. 3.12
143	〃	生目神社のクスノキ	〃	昭48. 3.12
144	〃	倉岡小学校のシロバナフジ	大字糸原538番地（倉岡小学校内）	平10. 8. 3
145	〃	はぜ馬場のはぜ並木	佐土原町下田島新城・佐賀利	昭54. 4. 8
146	〃	名木いちょう	田野町乙3317番地6	昭53. 3. 1
147	〃	ヤマザクラ（天神）	田野町乙300番地14	平17.12. 2
148	〃	島津忠国の誕生杉	高岡町小山田麓940番地2	昭54. 1.24
149	〃	高岡町のヤッコソウ自生地	高岡町小山田（国有林内）	平17.12.19
150	〃	船引神社のヤッコソウ	清武町船引6622番地（船引神社境内）	昭45. 7.23
151	〃	紅梅	清武町船引（個人）	昭48. 7.26
152	〃	琉球豆柿	清武町加納甲（個人）	昭48. 7.26

④国登録文化財

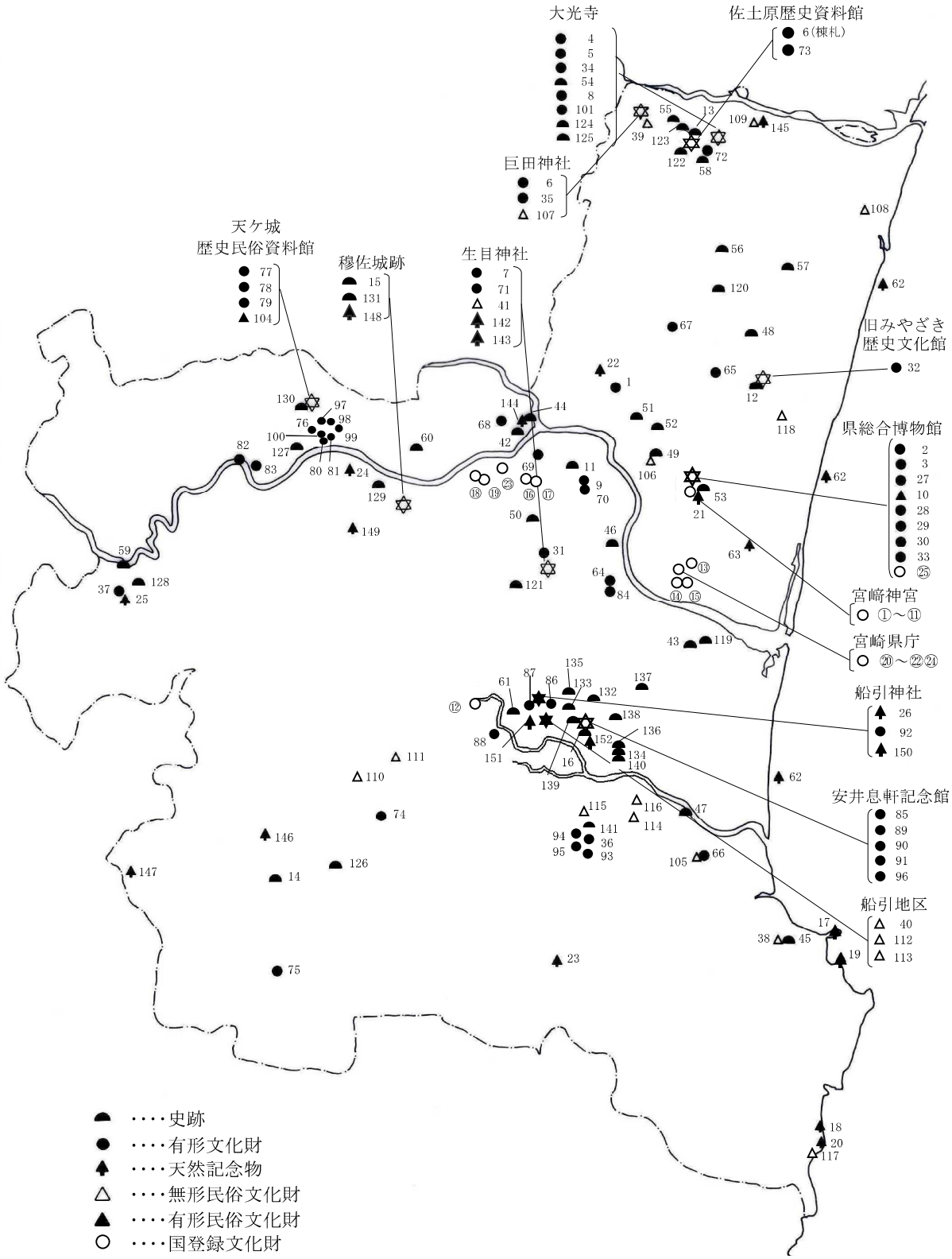
番号	種　　別	名　　称	所　在　地	登録年月日
①	有形文化財	宮崎神宮神殿	神宮2丁目（宮﨑神宮境内）	平22. 1.15
②	〃	宮崎神宮幣殿	〃	平22. 1.15
③	〃	宮崎神宮渡殿	〃	平22. 1.15
④	〃	宮崎神宮神饌所	〃	平22. 1.15
⑤	〃	宮崎神宮御料屋	〃	平22. 1.15
⑥	〃	宮崎神宮透間垣	〃	平22. 1.15
⑦	〃	宮崎神宮拝所	〃	平22. 1.15
⑧	〃	宮崎神宮正門	〃	平22. 1.15
⑨	〃	宮崎神宮玉垣	〃	平22. 1.15
⑩	〃	宮崎神宮石柵	〃	平22. 1.15
⑪	〃	宮崎神宮徴古館	〃	平22. 1.15
⑫	〃	黒北発電所	清武町船引3544番地	平 9. 5. 7
⑬	〃	池田家住宅主屋	別府町53番地1	平24. 2.23
⑭	〃	奈良家住宅主屋	旭1丁目106番地	平25.12.24
⑮	〃	奈良家住宅別棟	〃	平25.12.24
⑯	〃	松浦家住宅石蔵	大字柏原字高野迫986番地イ	平28. 2.25
⑰	〃	松浦家住宅門柱及び石塀	〃	平28. 2.25
⑱	〃	土器屋家住宅石蔵	大字富吉4869番地3	平28. 2.25
⑲	〃	土器屋家住宅石塀	大字富吉4869番地2他	平28. 2.25
⑳	〃	宮崎県庁舎本館	橘通東2丁目35番地	平29. 5. 2
㉑	〃	宮崎県庁舎正門門柱	〃	平29. 5. 2
㉒	〃	宮崎県庁舎東門門柱	〃	平29. 5. 2
㉓	〃	青木橋	大字富吉	平29. 5. 2
㉔	〃	旧宮崎農工銀行（宮崎県庁５号館）	橘通東１丁目44番地	令 3.10.14
㉕	記　念　物	賀来飛霞標本	神宮2丁目（県総合博物館）	平22. 8. 5

⑤宮崎市の指定文化財内訳

種　　別	国指定	県指定	市指定	合　計
重要文化財（有形文化財）	9	11	38	58
重要有形民俗文化財(有形民俗文化財)	1		1	2
無形文化財			2	2
無形民俗文化財		4	14	18
史跡	6	20	23	49
特別天然記念物	2			2
天然記念物	8	2	11	21
合　　計	26	37	89	152

⑥宮崎市の登録文化財内訳

種　　別	登録
有形文化財	24
記念物	1
合　　計	25



宮崎市内指定文化財分布図（令和8年4月1日現在）

2　生目の杜遊古館

埋蔵文化財センターと体験学習館の施設を有する宮崎市の埋蔵文化財の調査・研究と整理・保管、普及啓発活動の拠点施設。

埋蔵文化財センターの展示室1では、旧石器時代から近現代に至る宮崎市域の歴史について、展示室2では国重要文化財に指定された「下北方5号地下式横穴墓出土品」について、展示室4では、隣接する国指定史跡生目古墳群や宮崎市内の遺跡から出土した埋蔵文化財について展示・紹介している。また、展示室3では、年数回、宮崎市の歴史や文化にちなんだ企画展を行っている。

体験学習館では、古代文化体験のほか親子で楽しめる各種体験ができる。

（1）施設の概要

区　　分	埋蔵文化財センター	体験学習館
所　在　地	宮崎市大字跡江4200番地3	
敷 地 面 積	19,907.2㎡	
建物延 床面積	2,499.9㎡	1,324.98㎡（体験学習棟）
建 物 構 造	鉄筋コンクリート造 平屋建て	鉄骨造平屋建て
建　設　費	719,873　千円	303,753　千円
休　館　日	月曜日、祝日の翌日（但し、土・日曜日、休日に当たる日を除く）、12/29～1/3	
開　館　日	平成21年4月25日 (展示室リニューアル:令和2年9月19日)	
開 館 時 間	午前9時　～　午後4時30分（入館は午後4時まで）	
入　館　料	無料	

①埋蔵文化財センター

宮崎市の文化財に関する「調査・研究」「整理・保管」「公開・活用」を目的とした施設である。センターでは、隣接する生目古墳群を中心に、下北方5号地下式横穴墓出土品や国指定史跡･本野原遺跡の資料など、原始から近現代にかけての各種文化財を展示し、また、埋蔵文化財センターでの報告書作成業務の公開も行っている。

②体験学習館

古代文化体験、創作活動ができる体験学習施設。

〈体験学習棟〉多目的室、体験工房、調理実習室、食堂、シャワー室

〈その他〉炊飯棟、多目的広場

（２）事業の概要

１　令和７年度実績

・総入館者数　　33,978人(大人　24,865人　小人　9,113人)
・開館日数　　305日
・一日平均利用者　　111人

２　企画展、講座、イベント等の開催

企画展として、「武士の日常」では、佐土原藩・高岡郷など身近な宮崎の武士の日常の生活ぶりを史資料により展示紹介した。また、「絵・画・図！『え』にまつわる資料展」では親しみやすいテーマである「絵・画・図」を持つ歴史・民俗資料の展示を通して、地域の歴史に興味・関心を持ってもらえる機会を提供した。

講座では、外部の専門家及び当館館長を講師として、歴史や文化に気軽に親しめる内容で『歴史文化講座』を10回、また、『みんなの考古学講座』を宮崎市文化財課の専門職員により5回、当館学芸員による講座を4回開催した。加えて、『古文書講座中級編』を5回開催した。

体験学習では、古代生活体験（勾玉づくり、はにわづくり等）、自然体験（草木染め等）及び野外体験（火起こし体験、野外炊飯）を18回実施し、その他子どもたちが昔の生活を体験することによってSDGsを学ぶレッツタイムワープin遊古館を5回実施した。

イベントについては、大淀川学習館と連携するなどしてデイキャンプを夏冬の2回実施したほか、こどもの日の特別企画や市の生目古墳まつりと連携したイベントを実施した。

そのほか市内小学校等19校の社会科見学・遠足の利用や学校・地域住民向けの出前講座を7回行った。

３　佐土原歴史資料館

佐土原歴史資料館は、鶴松館と商家資料館からなる。そのうち鶴松館は寛永年間の佐土原城二の丸跡に資料館として建設され、有形文化財指定の商家資料館「旧阪本家」とともに、佐土原地域の数々の資料に触れることができる。

また、資料館敷地を含む佐土原城跡については、自然の地形を利用した中世の典型的な山城と江戸時代に利用された平城の両方が残っており、平成16年に国指定文化財（史跡）となっている。南九州では他に類を見ない天守を備え、金箔瓦を使っていたことなどが明らかになっている。

（１）施設等の概要

区　　分	鶴　松　館	商家資料館「旧阪本家」
所在地	佐土原町上田島8227番地1	佐土原町上田島1601番地2
敷地面積	3,264㎡	150.5㎡
建物延床面積	535.15㎡	140.36㎡
建物構造	木造平屋建て	木造2階建て
建設費	941,403千円	17,000千円
休館日	月曜日～金曜日（休日に当たる日を除く。5/15～6/14は休館日なし）、12/29～1/3	
入館料	無料	
開館日	平成5年6月1日	平成13年7月2日
展示の概要	大広間、書院、数寄屋の三棟からなる。大広間では、佐土原人形や、掛け軸、鎧冑などを常設展示している。 書院では、展示資料室として、山城天守台跡から発掘された鯱瓦や、南九州最大の「下村窯跡」出土須恵器、山城立体模型、国指定重要文化財「巨田神社の棟札」、西郷札など古代から近代にかけての資料を展示している。 数寄屋は島津家由来の家具調度品を展示している。	阪本家は、江戸時代から続いた味噌・醤油醸造を営む旧商家で、現在の建物は隆盛を極めた明治38年に建てられ、二列通り庭造りの典型的な町屋造りである。 普通の町屋は、間口三間の奥に長い形をしている（入母屋造りの妻入り型）が、阪本家は「重層入母屋造りの平入り」型である。 平成12年5月に、「有形文化財」に指定されている。（宮崎市指定）

※商家資料館「旧阪本家」については地震被害のため令和6年8月31日より臨時休館している。

（２）事業の概要

①令和7年度実績

・総入館者数　　9,138人(大人　7,008人　小人　2,130人)

・開館日数　　137日　・一日平均利用者　67人

②企画展、体験学習等の開催

企画展として、「佐土原の昭和を振り返る～昭和100年によせて～」で昭和100年にちなみ佐土原の昭和時代のあゆみを資料や写真・パネルで紹介・解説した。

体験学習として、日本の伝統文化の体験や佐土原島津藩に関連する「旧跡巡りマップ」を使って佐土原城や城下の史跡巡りを実施した。

４　天ケ城歴史民俗資料館

平成5年に高岡地区の桜の名所、天ケ城公園内にオープンした天ケ城歴史民俗資料館は、高岡地域の文化遺産（歴史・考古・民俗）を保存・研究している。その成果は、展示や講座などを通して普及・促進しており、地域文化の向上に寄与している。

（１）施設の概要

所　在　地	宮崎市高岡町内山3003番地56
建物延床面積	1,432.28㎡
建物構造	鉄筋コンクリート4階建て
建　設　費	876,000千円
休　館　日	月曜日～金曜日（休日に当たる日を除く。3/15～4/14は休館日なし）、12/29　～1/3
開　館　日	平成5年11月6日
入　館　料	無料

【展示の概要】

天ケ城歴史民俗資料館の展示は、大淀川とともに生きてきた高岡地区や人々の生活ぶり、かつて薩摩藩の武家集落である麓の一つとして栄えた武家社会のあり様、その他高岡地区の歴史、風土、産業などを映像やジオラマなどによって分かりやすく紹介している。

1階展示コーナーは、民俗資料や帆掛け舟などによって、大淀川と高岡地区の関わりについて、分かりやすいガイダンス展示となっている。また、玄関ホールは、企画展示のコーナーで、高岡地区の歴史・考古・民俗についてさらに詳しく紹介している。

2階展示コーナーは、「川が培ったもの」というテーマで、高岡地区の歴史について、南北朝時代の穆佐院の頃から江戸時代の高岡郷・穆佐郷までの社会の移り変わりを中心に紹介している。特に、江戸時代の高岡郷の一日を再現したジオラマ模型は、当時の人々のくらしを具体的に知ることができる展示となっている。

3階展示コーナーは、「川と営み」というテーマで、かつて高岡地区でよく見かけられた中二階の家を再現するなど、高岡の民俗を分かりやすく展示している。

4階からは、「川が生み出したもの」というテーマで、大淀川を中心とした現在の高岡地区の様子が一望できる。

（２）事業の概要

1　令和7年度実績

・総入館者数　　15,949人(大人　10,112人　小人　5,837人)
・開館日数　　138日
・一日平均利用者　116人

2　企画展、体験学習等の開催

企画展として、「高岡今昔写真帖」で昭和100年にちなみ、高岡の歴史や街の変化を写真パネルで紹介し、高岡の歴史・文化に親しむ機会を提供した。

体験学習として、水鉄砲づくりやミニ門松づくりなど昔ながらの製作を中心に、子どもとその保護者を対象に実施した。

また、高岡歴史かるた会が作成した高岡町にまつわる事柄を札とする「高岡歴史かるた」の普及のため、講師を招いてかるた遊びを行うとともに地域団体とかるた大会を開催した。

さらに、小学校第3学年社会科の学習支援として授業支援事業「昔の道具と人びとのくらし」を実施し、宮崎市広域圏内の小学校を対象として要請のあった学校34校を訪問して、昔の道具の取り扱い方をはじめ、道具の解説などを行った。

５　安井息軒記念館

安井息軒記念館は、平成11年度に開催された幕末を代表する儒学者･安井息軒の生誕200年祭の挙行によって、さらに活発となった彼の顕彰活動の一環として平成14年に開館した。

記念館では、息軒に関する資料の展示や管理を中心に、宮崎平野の南部に位置する旧清武郷の歴史や文化等の紹介を行い、また隣接する国指定史跡「安井息軒旧宅」の公開と管理も行っている。さらに敷地内にある茶室「香梅庵」の管理や貸し出しも行っていて、毎年2月に呈茶も行っている。

所　在　地	宮崎市清武町加納甲3378番地1
敷地面積	4,329㎡
建物延床面積	1,131.52㎡
建物構造	鉄筋コンクリート2階建
建設費	495,647千円
休館日	月曜日、休日の翌日(但し、土・日曜日、休日にあたる日を除く)、12/29～1/3
開館日	平成14年9月23日
入館料	無料

（１）施設の概要

①展示の概要

安井息軒記念館では、「安井息軒」と「清武の歴史」を紹介している。安井息軒展示室では、「文久の三博士」と称された彼の生涯と業績について、直筆の書籍や遺品等の資料を交えて紹介している。宮崎市中心部から太平洋まで見渡せる展望室では、清武城跡や曽井城跡などの中世城郭をはじめ古代・中世の清武に関する資料を、その眺望を活かす形で紹介している。また、廊下展示では、息軒の江戸期における活躍を紹介し、加えて旧清武郷木花出身の刀工「井上真改」作の日本刀を特別ブースにて展示している。

②茶室「香梅庵」

香梅庵は、日本の伝統文化である茶道の普及を目的に建てられた施設で、一般への貸し出しも常時行っている。約10坪の茶室は入母屋造りの草庵式茶室で、四畳半の小間と水屋に寄合待合が付設されている。また、外露路には腰掛待合が設けられ、内露路にはつくばいと石灯籠が配置されている。

③国指定史跡「安井息軒旧宅」

安井息軒の生家で、天保2（1831）年安井家が飫肥へ転居するまで父滄洲らとともに息軒はここで暮らしていた。転居後他者の所有となったものの紆余曲折を経て大正12年に公有化され、昭和54年には国の史跡に指定された。その後、発掘調査や聞き取りの結果をもとに、平成5年には史跡整備が行われた。さらに令和元年度には耐震補強、茅葺き替え等を含めた保存修理工事が行われた。

（２）　事業の概要

① 令和7年度実績

・総入館者数　8,274人（大人 5,854人 小人 2,420人）
・開館日数　　305日
・一日平均利用者　27人
・施設利用 香梅庵 118件（488人）

② 各種講座、イベント等の開催

講座は、「安井息軒記念館講座」を7回実施。また息軒の著作『左伝輯釈』を解説する「息軒会読」を新規講座として開催した。

企画展では、9月7日（土）から11月2日（日）の期間、「息軒の人となり」展や、1月24日（土）から3月29日（日）の期間、「息軒の外交論」展を開催した。

その他、夏休み期間中には「安井息軒顕彰書道展」を開催した。

12月には「息軒探訪バスツアー」を開催し、息軒の著書『志濃武草』の行程を辿りながら西都市都於郡を訪ねた。

3月には息軒を育んだ清武中野・南加納の史跡を訪ねる「息軒ふるさとウォーク」を開催した。